



書くこと(綴る)は自分を知ること

学校にも一人一台端末が入り、デジタル化されてきた世の中ですが、これまでの教育がしてきたように「書く」ことはこどもたちの成長にとっても大きな意味をもつ大切な学び方だと思います。書くことで自分の考えを整理したり、新たな価値に気づいたりすることは保護者の皆様も経験されていると思います。わくわく学習で自分を語る作文や日記に挑戦するのとてもよい試みです。

4 年 木坂あかりさん

「自分で作ったたまごやき」

わたしは今日お母さんといっしょにたまごやきをつくりました。わたしの家のたまごやきは少し甘めです。ざいりょうは、たまご、白だし、さとうです。

こつは二つあります。

一つ目は、たまごを混ぜる時に白身を残さずまぜることです。理由は、たまごやきをつくるときに白身がのこって白くなって、真黄色にならないからです。

二つ目は、たまごをいれてひっくり返す前に空気が入っているところをつぶします。お父さんに味見をしてもらったら「あまみがあっておいしいね。」と言ってくれてとてもうれしかったからです。

おばあちゃんとおじいちゃんにもたまごやきをあげました。「真っ黄色になってきれいだね。」と言ってもらいました。

4 年 有地きららさん

「15 日のこと」

15 日は父の日だったのでママのパパとママとママの弟が来ました。

私の家でぎょうざパーティーをしました。1 袋 30 枚入りの皮を 10 袋買って 9 袋使いました。全部で 270 こつくりしました。

私の家のぎょうざは、キャベツとしょうががいっぱい入っていて、みそで味付けをしています。ノーマルと梅しそ入りを作りました。

わたしは、食べるときにポン酢ではなく、塩コショウで食べるのが好きです。梅しそ入りがとてもおいしかったです。

また、ばあばたちとぎょうざパーティーを試してみたいです。



国語で文の書き方を学習しますが、使いながら身につけていくものです。

「はじめ・なか・おわり」で段落を変えて書くや習った漢字を使うや「」を使って表現を豊かにする等、意識して書くことにも挑戦してみましょう。